

## 2. クライムストッパーズ・インターナショナルの設立・発展の経緯

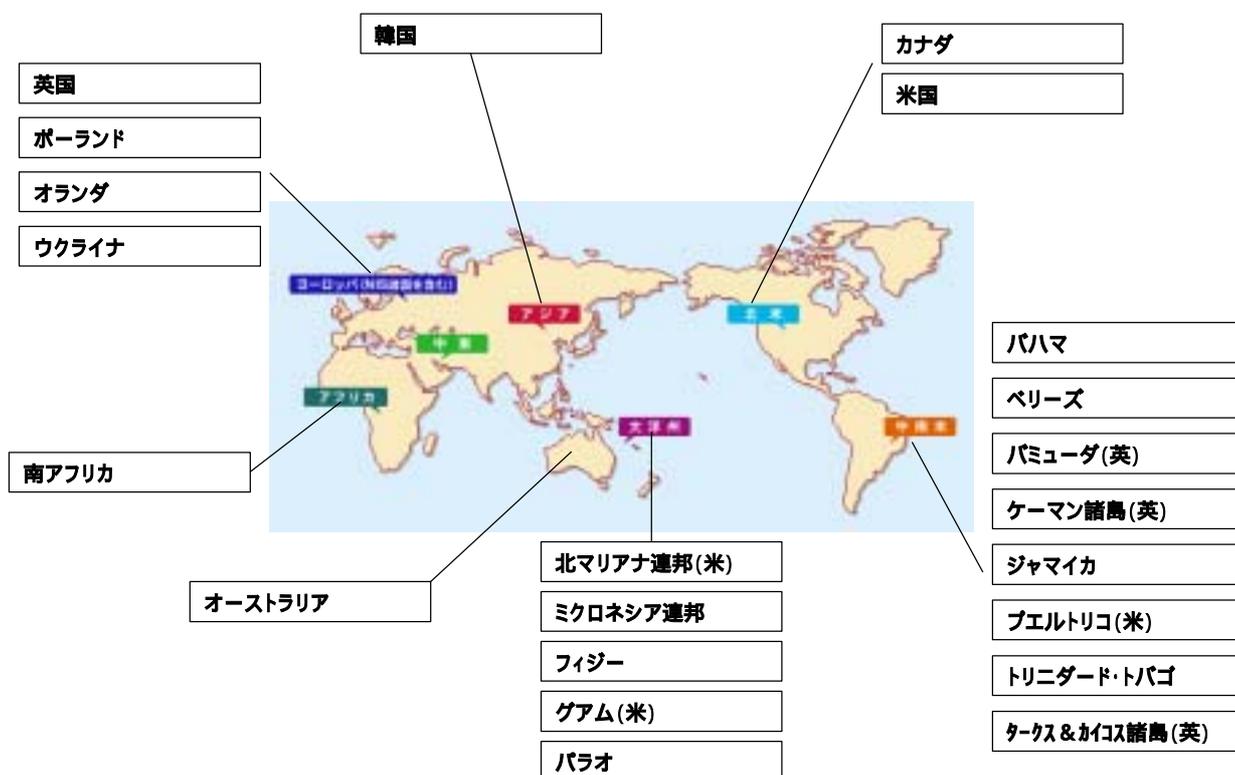
海外のクライムストッパーズを統括する上位組織として、クライムストッパーズ・インターナショナル (Crime Stoppers International: CSI) があり、各国のクライムストッパーズは CSI の傘下に置かれている。

CSI ロゴ



2006 年で創立 30 周年を迎えるクライムストッパーズだが、現在北米、ヨーロッパ、中南米、南アフリカ、カリブ諸国を中心に、世界 20 カ国に約 1,200 の支部が設立されており、2007 年にはインドにおいて新たにクライムストッパーズ制度が開始される予定である<sup>17</sup>。

クライムストッパーズを導入している国々<sup>18</sup>



<sup>17</sup> Crime Stoppers India Foundation 創設者 Gandhi P.C. Kaza 氏。

<sup>18</sup> Crime Stoppers International ウェブサイトより MRI 作成。(URL:<http://www.c-s-i.org/>)

各国のクライムストッパーズと同様に、CSI もボランティアの理事会によって運営される非営利団体である。CSI の統計によると、1976 年以来クライムストッパーズから提供された情報が検挙に結びついた事例は 100 万件を超えるほか、押収された盗難品の総額は約 16 億ドル（約 2,000 億円）、薬物の総額は約 61 億ドル（約 7,625 億円）に上る<sup>19</sup>。

クライムストッパーズの活動実績（2006 年 12 月終了時点）<sup>20</sup> 単位：米ドル・円

容疑者が検挙 / 逮捕 / 起訴された事件数	1,088,732 件	
検挙数	634,144 件	
報奨金支給総額	\$99,020,991	¥12,377,623,875
物品押収額 (property recovered)	\$1,617,328,498	¥202,166,062,250
薬物押収額	\$6,136,672,908	¥767,084,113,500
押収品総額 (total dollar recovered)	\$7,754,001,406	¥969,250,175,750

### (1) CSI の役割

CSI の主な任務には、新規加盟国におけるクライムストッパーズ設立支援、各支部への情報発信、国際会議の開催、裁判の際の法的支援等がある<sup>21</sup>。中でも、各国支部のネットワーク強化は CSI の重要な任務の一つであり、CSI はインターネットでの情報発信や機関誌の発行を通じて世界各国に点在している支部のネットワーク強化に貢献している。

クライムストッパーズが発行している機関紙「The Caller」<sup>22</sup>



<sup>19</sup> 2007 年 2 月時点の為替レート（1 ドル = 125 円）により換算。

<sup>20</sup> 2007 年 2 月時点の為替レート（1 ドル = 125 円）により換算。Crime Stoppers International ウェブサイトをもとに MRI 作成。（URL: <http://www.c-s-i.org/>）

<sup>21</sup> Crime Stoppers UK ウェブサイト

（URL: <http://www.crimestoppers-uk.org/about/crimestoppersinternational/>）

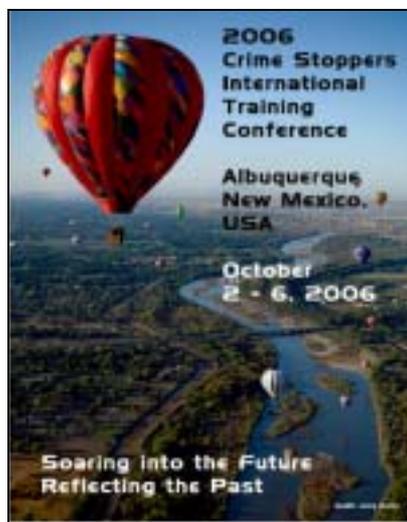
<sup>22</sup> 「The Caller」 2006 年 7 月号（URL: [http://www.c-s-i.org/download.php?july\\_2006.pdf](http://www.c-s-i.org/download.php?july_2006.pdf)）

さらに、新規加盟国に対するクライムストッパーズ支部設立支援も CSI の主要な任務である。新規加盟国に対する支援として、CSI はマニュアルに基づく運営指導や、地域住民との協力関係構築支援、既に制度を導入している支部からの講師派遣等を行っている。例えば、オランダにクライムストッパーズが設置された際は、CSI の調整のもと、英国クライムストッパーズのスタッフが全面的に協力し、オランダ警察やメディアに対する教育を行ったほか、情報の受け手順や警察との連携方法、広報活動方法等を指導した。現在でもオランダと英国支部は、連携を取りながらヨーロッパ全土に活動範囲を拡大させている。

また、CSI は毎年国際会議を開催し各国のクライムストッパーズに対し研修を実施している。国際会議では研修のほかにも、各支部のノウハウの情報交換や優れた活動を行った支部への表彰等が行われる。

2006 年の国際会議は、米国ニューメキシコ州アルバカーキにて米国、カナダ、英国、オーストラリア、オランダ、バミューダ、トリニダード・トバゴ、グアム、北アイルランド、インド等から参加者が集い、1 週間に渡って実施された。研修では、効果的な資金調達活動の方法、通報者の匿名性維持のための施策、広報活動の実施要領、ボランティアスタッフの管理方法、報奨金の支払方法、子どもに対するクライムストッパーズ教育等のテーマ別に講義が開講され、参加者による活発な意見交換が行われた。

2006 年 10 月に開催された国際会議のポスターとウェブサイト<sup>23</sup>



<sup>23</sup> CSI 国際会議ウェブサイト (URL: <http://www.csi2006.com/>)

## 情報交換に熱心な各国関係者



出所：MRI 撮影



出所：MRI 撮影

### 国際会議での講義内容（一部）<sup>24</sup>

- ・ コミュニティにおけるクライムストッパーのあり方
- ・ 市民による理事会の円滑な運営方法
- ・ 通報者の匿名性を維持するための方策
- ・ メディアとの関係構築
- ・ ボランティア職員の効率的利用方法
- ・ 資金調達の方法
- ・ 統計および記録の管理方法

講義を受講しクライムストッパーズ運営に関する研修を受けた受講生には証明書が発行され、クライムストッパーズ研修の修了者と認定される。

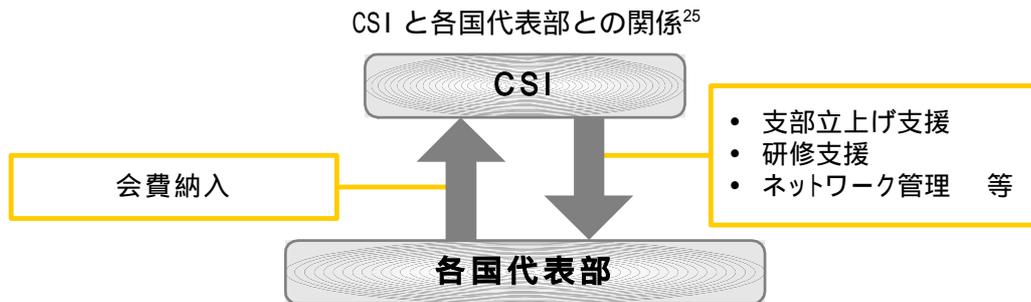
### 研修修了者に発行される証明書



<sup>24</sup> CSI 国際会議日程表より。

(2) CSI と各国支部との関係

クライムストッパーズは国際組織であると同時に、地域密着型の治安維持活動を展開していることから、各支部の独立性が高い組織といえる。CSI は各支部に対し直接活動内容を指示することはない一方、各支部が円滑に活動を展開し得るように、情報共有やネットワーク構築に関する支援を行っている。



各国代表部は CSI へ加盟するために、以下の条件を満たさなければならない<sup>27</sup>。

(a) クライムストッパーズマニュアルに従い、下記の事項を遵守すること。

- 通報者の匿名性の維持。
- 通報で得られた情報によって犯人もしくは逃亡者が逮捕、起訴された場合や、薬物や盗難品の押収に結びついた場合報奨金(概して公費を用いない)の支給。
- 民間人による理事会の設置。
- 警察からのコーディネータ派遣。

(b) CSI から要求があった場合、書類や統計を提出すること。

(c) CSI へ年会費を納めること。

CSI への加盟申請用紙<sup>26</sup>

Country	Population	Rate	Programs	Year
1	United States	\$10	1	100,000 - 200,000
2	Canada	\$10	1	100,000 - 400,000
3	UK, France, Germany, Italy, Spain, Portugal, Greece, Ireland, Norway, Sweden, Finland, Denmark, Netherlands, Belgium, Luxembourg, Switzerland, Austria, Czech Republic, Slovakia, Poland, Hungary, Slovenia, Croatia, Serbia, Bosnia and Herzegovina, Montenegro, Albania, Bulgaria, Romania, Moldova, Ukraine, Belarus, Lithuania, Latvia, Estonia, Latvia, Estonia, Latvia, Estonia	\$10	1	100,000 - 400,000
4	Japan	\$10	1	100,000 - 400,000
5	China	\$10	1	100,000 - 400,000
6	India	\$10	1	100,000 - 400,000
7	South Korea	\$10	1	100,000 - 400,000
8	Australia	\$10	1	100,000 - 400,000
9	New Zealand	\$10	1	100,000 - 400,000
10	Other	\$10	1	100,000 - 400,000

<sup>25</sup> Crime Stoppers International ウェブサイト (URL:<http://www.c-s-i.org/join.php>)

<sup>26</sup> CSI ウェブサイトよりダウンロードが可能。(URL:<http://www.c-s-i.org/98-0001a.pdf>)

<sup>27</sup> Crime Stoppers International ウェブサイト (URL:<http://www.c-s-i.org/join.php>)

CSI への年会費<sup>28</sup>

カテゴリー	人口	年会費 単位:米ドル(円)	カテゴリー	人口	年会費 単位:米ドル(円)
I	学生団体支部	\$50 ( ¥6,250 )	V	100,000 249,999	\$250 ( ¥31,250 )
II	25,000 人以下	\$100 ( ¥12,500 )	VI	250,000 499,999	\$300 ( ¥37,500 )
III	25,000 49,999	\$150 ( ¥18,750 )	VII	500,000 749,999	\$400 ( ¥50,000 )
IV	50,000 99,999	\$200 ( ¥25,000 )	VIII	750,000 999,999	\$500 ( ¥62,500 )
SP	州支部	\$200 ( ¥25,000 )	IX	100 万人以上	\$600 ( ¥75,000 )

<sup>28</sup> Crime Stoppers International ウェブサイト (URL:<http://www.c-s-i.org/join.php>)  
2006 年 2 月時点の為替レート (1 ドル = 125 円) により換算。

### (3) 国際機関との連携

#### 国連特殊協議資格の取得

CSI は、非政府組織 (Non-Governmental Organization : NGO) として、国連の特殊協議資格 (Special Consultative Status) を取得している。特殊協議資格は国連の経済社会理事会の活動分野の一部を担当する NGO に認められ、同資格を持つ NGO は、決議内容が国連総会に提出される前の委員会レベルにおける協議に参加することが出来る<sup>29</sup>。CSI は、主に薬物密売の取り締まりに貢献する NGO として認定されており、2005 年から 2008 年まで、国連の特殊協議資格を有することとなっている。

#### 国連薬物犯罪事務所との連携

CSI は国連薬物犯罪事務所 (United Nations Office on Drugs and Crime : UNODC) ともパートナーシップを構築している。

2006 年 3 月 13 日よりウィーンで開催された国連麻薬委員会の第 49 回通常会期に、CSI は国際 NGO として出席し、薬物の密売や人身売買撲滅に向けた連携について議論が行われた<sup>30</sup>。また、アルバカーキにて開催されたクライムストッパーズ国際会議に UNODC の担当官が出席し、UNODC とクライムストッパーズの連携に関する講義が行われた。

#### 国連薬物犯罪事務所 (UNODC)

不正薬物、犯罪、国際テロリズムの問題に包括的に取り組むことを目的とする国連組織。主な事業は、不正薬物・犯罪に関する調査研究・分析や、国連加盟国の法整備支援、不正薬物・犯罪・テロリズム対策能力向上のための技術協力等。

(外務省ウェブサイトより)

<sup>29</sup> 国連広報センターウェブサイト (URL: <http://www.unic.or.jp/ngo/direct.htm>)

<sup>30</sup> Crime Stoppers International ウェブサイト (URL: <http://www.c-s-i.org/news.php?id=31>)